

平成 27 年度スタディツアー推進事業 スタディツアー 環境王国対馬へ 事前学習会 報告書

1. 日時 : 2015 年 7 月 22 日(水)10:10~12:00
2. 場所 : 宇部市シルバーふれあいセンター(琴芝町二丁目)3階第3講義室
3. 主催 : 宇部市 市民環境部 環境政策課
及び宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)
4. 出席者 : ・宇部市 市民環境部 環境政策課 岡本係長、荒木
(敬称略) ・スタディツアー参加者(10 名全員)及びその保護者(1 名)
・UNCCA 木原、太田(記)

5. 学習会内容の概要

スタディツアーは単なる観光旅行ではなく、あくまでスタディツアー(学習旅行)であるとの趣旨に基づき、ツアーをより一層効果的にするために、また参加者たちが少しでもお互いに顔見知りとなり、親密になる様に事前学習会を開催した。趣旨に基づき、学習会は次の順序で行われた。

1. 挨拶と自己紹介

一緒に旅行する仲間の中学生として、参加者が順次、氏名・学校名・学年・所属クラブ、趣味などを述べて、自己紹介した。

2. 同じ列に座っている参加者(2~3 名)に向けて、各自が“宜しく”と挨拶を交わして、『スタディツアーで何を学びたいか?』自分の考えを伝えると共に相手の考えを聞いた。
(実情は、余りしっかりと話し合われなかった模様)

3. パワーポイント資料(以下PPT)を用いて『ESDって何?』を学習。

(環境)問題に向き合うための考え方として、『多様性』『公平性』『相互性』『連携性』『有限性』『責任性』などについて学び、問題を解決するためには、“進んで参加すること”、“つながりを大切にする“ことや”誰かに気持ちを伝える“ことの大切さを学んだ。

4. スタディツアーで学ぶことのヒントとして以下の 3 項目についてPPT資料を用いて学習を進めた。

(1) 対馬の地理・歴史

(2) 対馬の環境

対馬の環境問題として絶滅危惧種である“つしまやまねこ”の特徴や保護活動についてPPT資料で説明すると共に、“つしまやまねこ”のDVD(約 25 分)を觀賞し、理解を深めた。また、漂流ゴミについても PPT 資料で学習した。

(3) 宇部の環境

宇部のまちが炭鉱(石炭産業)からセメント産業のまちへ、そして化学産業が育っていった過程で降下煤塵(ばいじん)がひどくなり、これを『宇部方式』で解決し、国連(UNEP)の“グローバル 500 賞”を受賞した経緯や、今ではみどりや花と彫刻のまちとして環境問題や景観に力を入れている事を学習した。

(4) カーボンオフセットとは?の学習

カーボンオフセットとはなにかをPPT資料と環境省の学習ビデオ(地球の環境問題及びカーボンオフセット:約10分)を用いて学習し、スタディツアーで排出される地球温暖化ガス(二酸化炭素)をオフセット(埋め合わせ)するために、宇部市営バスの燃料となるバイオディーゼル油を購入し、オフセットする仕組みを説明し、各自例に従って自分に起因する二酸化炭素の排出量を計算する様に指導した。

(5) 『スタディツアーで何を学びたいか?』をノートアップ

学習会の最初の方では、まだしっかりと考えの纏まっていなかった“スタディツアーで何を学びたいか?“について、配布した学習ノートに書き入れ貰いそのコピーを提出して貰った。(添付資料“何を学びたいか”参照)

6. 配布資料

- ① 学習用説明資料(パワーポイントプリント版)
- ② 学習ノート
- ③ カーボンオフセットの計算(シート)
- ④ 事前学習 参考資料 リスト

リストに記載された以下の参考資料

- ・ 対馬の地理(ウィキペディアより)
- ・ 対馬の歴史(対馬物産観光協会HPより)
- ・ 朝鮮通信使(～朝日新聞記事(2014.6.29))
- ・ つしまやまねこ関連図書資料(みどりの風)
- ・ 人工ごみ漂着～朝日新聞朝刊(2015.6.4)
- ・ 〃 〃 ～環境省 報告書(関係頁の抜粋)
- ・ ふるさと宇部(抜粋)～戦後編
- ・ 宇部市、水俣市、対馬市 3都市比較表PPTの事前学習会説明資料

⑤ 冊子(日本のエネルギー2014)-資源エネルギー庁発行

⑥ スマートライフおすすめBOOK(2014年度版)

ースマートライフジャパン推進フォーラム発行



参加者の事前学習風景